

緊急集会!



ちょっと待った!

島根原発3号機の審査申請

7/21(土)

17:30~18:30

松江テルサ横

14:00 から 17:00 まで、松江テルサ4F大会議室にて、脱原発をめざす首長会議の「再エネを主力電源に」「周辺自治体に事前了解権を」とのテーマで学習会が開催されます。

(<http://mayors.npfree.jp/>)

傍聴希望は、FAX : 03-3363-7562 またはメール : mayors@npfree.jp へ(名前と連絡先必要)

学習会終了後の緊急集会&パレードです



主催：島根原発・エネルギー問題県民連絡会

連絡先 (0852-22-7316)

3号機を動かす必要はありません

2011年の福島原発事故以前から、中国地方の電力需要は減少し続け、現在でも中国電力の供給予備率は10%以上をキープし続けています。これ以上、原発を動かす必要は全くありません。

“老朽火力の代替に原発”は、間違い!

中国電力は、40年超の運転期間を持つ老朽火力は効率が悪く、CO2を排出するので代わりに3号機が必要だと言います。

この“CO2排出削減の代わりに、万が一の事故時には放射性物質による被ばくを”という提案は絶対にお断りです。福島原発事故は、最大の公害、環境汚染であったのですから、中国電力の主張は甚だしい筋違いです。

審査に合格しても、事故は起きるかも!

松江市を始め周辺自治体の多くも、適合性審査にすることを了解しています。

しかし、審査をする原子力規制委員会は、「審査に合格しても原発は事故を起こし得る」と明言します。実際に動かすまでに、自治体の実効性ある避難対策を確立できるわけもなく、誰も住民の安全を保障しないまま、動かす手続きを進めてもいいのでしょうか?

—私たちの答えはNO!です